

## 第3回 統合準備委員会（谷井田・三島）

《 令和元年9月5日（木）午後7時00分～ 市教育棟2階会議室 》

- 1 開会
- 2 事務局紹介
- 3 委員長あいさつ
- 4 協議事項

### （1）検討部会経過報告等について

#### ア 総務部会

総務部会長	： <p>それでは総務部会の進捗状況の説明を行いたいと思います。 総務部会資料の記録用紙をご覧ください。実施時期は、前回は7月13日に行いました。</p> <p>2番の①、通学方法ですが、スクールバスルートを検討しました。現在2ルートが出ております。ほぼルートは、固まったのですが、バス停をどうするかということで、この後、事務局含めて、意見をいただいてバス停を確定していこう、ということで、ある程度子供達が集まれる場所という意見もありますので、検討してバス停を決めていきます。</p> <p>続いて、学校名ですが、8月15日から校名の公募がはじまりまして、9月中旬まで公募しているけれども、色々と意見があるようなので、後ほどこれは検討したいと思います。</p> <p>③、体操服ですが、一番は土日とか、平日の夜に購入可能な販売店を探してからということで、保護者へのサンプル展示は行っていなかったのですが、スーパーカスミにおいていただけるという業者が出てきましたので、2学期から保護者に選んでいただくところです。これも9月中旬を目安に決定して、10月からは製造にはならないとならないと思いますので、そこまでには決定していきたいと思っております。</p> <p>④、校章、校旗については、校章が決定後に、校旗は発注することなので開校後の完成になるのはしょうがないかなと思っています。進め方は、校章は、公募して審査という形をとりたいと考えております。校歌については、事務局の案としては富士見ヶ丘小学校の事例を参考に公募して、決めていこうと。これも校名がきちんと決まってから検討していく方がいいということで、現在今後の検討課題として残っております。</p> <p>それから⑥、閉校事業、閉校イベントの実施の方向性は、いまのところ三島小学校、谷井田小学校ともあまり考えてはおりません。学校自体は残りますので、谷井田小学校保護者も子供達もピンと来ていない。閉校の式典だけは行うのです</p>
-------	--

	<p>が、新しい学校になるということで記念品などを配った方が良いのではという話が進んでおります。</p> <p>⑦開校記念式典の方なのですが、市の主催で秋を予定しております。そこで、校歌の披露とか校旗を授与する方向です。</p> <p>現在のところの進捗状況は、以上です。</p>
委員長	： ありがとうございます。部会長から報告がありました。全体で7点の報告がございましたが、全体を通して何かご意見、ご質問はございますでしょうか。
事務局	： はい、事務局より学校名について2点追加説明と、皆さんに協議いただきたいことがございます。追加資料をお配りします。
委員長	： はい、よろしくお願いいいたします。
事務局	<p>事務局より、今お渡しした資料と資料2に関係しているのですが、学校名につきまして、説明をいたします。</p> <p>学校名につきましては、前回の統合準備委員会での決定事項としまして、総務部会で絞り込まれた学校名を本統合準備委員会の中で投票によって決定するところまでは決まっておりますが、具体的にどのような手法で投票を行うのかというところを本日ご協議いただきたいと思います、お時間をいただきました。</p> <p>資料2の方で事前に目を通していただいた方もいらっしゃると思いますが、確認のため、説明させていただきます。</p> <p>投票の方法として、事務局より2点ほどご提示させていただいております。左側にあります単記投票は、多数決での通常の選挙を想像していただければと思います。イメージとして表にしております、例えばA、B、C、Dの学校名がありまして、投票を行った際、A小学校に投票したのは3名、B小学校が2名、C小学校が2名、D小学校が1名ということで、数の多いA小学校が1番になるということはお分かりいただけると思います。この単記投票は、シンプルでわかりやすく、民主的で公平性があると言われております。デメリットとしては、一番多くなった委員以外の方の意見が全く反映されないということがあります。</p> <p>もう一つ提案させていただいておりますのが、ボルダ投票と言いまして、一人当たり点数を持って1位以外にも順位付けをしまして、その総得点で点数が高いものを見ていくという方法になります。単記投票ではA小学校に投票した3人は、ボルダ投票では、A小学校に最も高い3点を付けるわけですが、2番目に良いと思ったものや3番目に良いと思ったものにも点数を付けることができます。こうして点数を見ていきますと、この方法ではC小学校が一番高い得点となる。このメリットは、幅広く意見を集め、支持されているものを洗い出すことができること。デメリットとしては、戦術投票に弱く、嫌だと感じるものに0点を付けて評価を下げることでできてしまうということです。</p> <p>本日はこういった投票のやり方を、この二つの中からというわけではなく、参考にして頂きながら、どのようにしていくか、協議いただければと思います。</p> <p>先程、お配りした資料をご覧いただきたいと思います、こちらは昨日、板橋・東の統合準備委員会と同じ内容について協議していただいたものを参考までに</p>

	<p>配付させていただきました。</p> <p>どのくらいの数の応募があるかによって大きく変わるという意見はあると思いますが、昨日の時点での谷井田・三島地区の学校名の応募状況は、学校を除き、公共施設分で、29件となっております。内訳は省略いたしますが、12種類の校名が出ております。</p> <p>これから小学校の在校生からも提出されると思います。</p> <p>現時点では、板橋・東の方も大体同じ数が来ております。先日の板橋・東の学校名の選び方では、最初に15種類くらいまでに選んでいただければやりやすいというような形になりました。</p> <p>投票の仕方も書いておりますとおり、一度ボルダ方式で投票を行い、数を絞った中で単記投票ということになりましたので、皆様にも情報共有として資料提供させていただきました。</p> <p>最後に、資料は付けておりませんが、投票にあたりまして谷井田、三島の委員について、学校の先生や地区関係者は、同数とさせていただいておりますが、委員長が学識経験者として入っている関係から、谷井田地区が1名多いという状況になっています。昨日、板橋・東地区でもこの投票する人数の地区別の差異について協議がなされましたので、お知らせしておきます。この件についても、ご協議いただければと思います。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
委員長	<p>はい、事務局から追加で説明がありました。学校名の投票について、ございましたが、具体的に投票方法について決定してほしい、また、総務部会ではどのくらいの数に絞り込んだ方が委員会ではよろしいか、地区の構成人数を合わせた方が良いか、この辺りについてみなさんからご意見いただきたいと思います。</p>
委員	<p>投票方法ではないのですが、閉校記念事業関係についてお伺いしたい。閉校記念式典自体は行わないにしても、代わりに記念品を地域に配付するということがありました。この地域に配付するというのはどのくらいまで考えているんですか。数的にはこのくらい、値段的にはこのくらいなど。他の事例など、こういった記念品を配るといことは一般的な事なのか？</p>
委員長	<p>事務局いかがですか？</p>
事務局	<p>はい、お答えいたします。まず、確認ですが、閉校イベントについては実施する方向は、なくなっておりまして、市主催の閉校式典は実施するということになっています。いわゆる儀式は市が行う予定です。</p> <p>ご質問の記念品につきましては、細かい中身について学校と打ち合わせをしながら決めていくこととなりますが、話が進んでいるのは記念品のタオルを考えております。配付数につきましては、地区の全世帯数分は、対応できるよう予算等を確保していきたいと考えております。</p> <p>配付の範囲についてですが、谷井田地区の全世帯数に配付できる位の予算措置を要望しているところですが、配付の方法などの課題も出て来るものでございますので、総務部会や学校と協議しながら決めていきたいと考えております。</p>

委 員 員	:	そうすると、谷井田と三島の学区内の全世帯に配付という考え方でよろしいでしょうか？
事 務 局	:	現在、議会中でございますが、補正予算をお願いしているところで、その中身としては、全世帯対応で見込んでおります。そのことで現在はタオルということで見積もりは取らせていただいておりますが、具体的にタオルでいいのか、手ぬぐいなのか、別のものなのかということについても、協議していきたいと考えています。
委 員 員	:	予算もあまりない中で、無理して記念品を配る必要はあるのかなと思います。また、配付するとなっても、委託でポストイングとかをするとすると、その業者の費用とかもかかってくるし、むしろタオルの値段よりも配送費用の方が高くなってしまふのではという懸念がある。そこまでして記念品の必要があるのか、他の合併事例でそういった記念品を配っているところがあるのか気になっているところです。
事 務 局	:	他の自治体における記念品については、式典に参加くださった皆様方や在校生に対してタオルを配付したり、航空写真を使ったクリアファイルなどを作って配付したりといった事例がございます。
委 員 員	:	色々あろうかとは思いますが、配付方法の全世帯というのはどうなのか？補正予算を議会にお願いしているということで、全世帯はいらないんじゃないかなと思います。もらっても何だこれは、という世帯もあろうかと思えます。もしも配付するなら、在校生だけで十分という気がします。 それは今後、総務部会などで検討いただくのかと思うのですが、ばら撒くというのはよろしくないと思います。範囲を狭めて在校生にこの学校を覚えていてね、というようにやればいい。タオルが良いのかクリアファイルが良いのかわかりませんが、小学生だったらクリアファイルは中学校に入っても使える。タオルはもらってもしょうがないんじゃないかなと。 色々なことを踏まえて総務部会で色々と考えてもらいたい。
事 務 局	:	ありがとうございます。総務部会の方にも統合準備委員会からの意見という事でお伝えさせていただいて、その中で色々検討して参りたいと思います。
委 員 長	:	はい、それではそのようにお願いしたいと思います。 他に、学校名の投票のところでご意見をいただきたいと思います。
委 員 員	:	参考にいただいた板橋・東の検討結果について見させていただきました。私がパッと見た感じで、私は総務部会にも所属していますが、総務部会で一生懸命考えるということが、15案に絞るとするのは、多すぎるのではないかと率直に思っています。 また、この委員会は、かなり責任を持った人たちしか来ていないので、無記名投票というのはやめてほしい。 個々の地域を背負ってきているとかそういうのではなくて、新しい学校をみんなで作るということ、それなりの理由を持っての投票になると思いますから、それを無記名でお茶を濁すんじゃないで、そこは誰が、どういう考えで、何

		に票を入れたのか、考えまでは聞く必要はないかもしれませんが、責任を持って投票するのに無記名っていうのはやめて、とても大事な事なので、我々が逃げないという姿勢を出したいと思うのですが、いかがでしょうか。
事務局	:	<p>まずは、板橋・東の総務部会の15種類という考え方につきましては、あまり絞り過ぎずにできるだけ幅広い形で統合準備委員会へ上げていくというような考えの中での15というものでございますので、特段これは、〇〇委員のおっしゃるように、例えば10にするとか、5にするとか、総務部会ではやらずに統合準備委員会にすべて上げるとか、そういうやり方も色々あるかと思えます。</p> <p>ただし、たとえば、数が多すぎてしまった場合に、統合準備委員会で1つ1つ丁寧に絞り込むのは、難しいという事がありました。</p> <p>今、〇〇委員がおっしゃったように、15にするくらいなら、この場で一回で決めてしまうということもありえると思えます。</p>
委員	:	<p>統合準備委員会で一回というのは極端な例ですが、それならば、5案とか7案とかそれくらいのもまで総務部会で絞って統合準備委員会に持ってくる。その中からこの委員で、2回でも1回でも投票は構わないので、それはここにいる方々が考えれば良いことですので。</p> <p>ここまで来て、お茶を濁さないでほしいっていう事です。誰も責任を負わないようなやり方ではなくて、我々はこの委員会に入った時点で責任を負わされているので、そこを理解していただきたいなと思えます。</p>
事務局	:	<p>ありがとうございます。今日お配りした板橋・東の検討結果につきましては、あくまでも参考でお配りしたものでございます。</p> <p>事務局としてはこれでやってくださいという意図はなく、決め方の参考とするにあたって出させていただいたものです。ただいま、委員からございましたご意見につきましても、ご審議いただければというところでございます。</p>
委員長	:	〇〇委員の方から学校名に関するところのご意見がありました。また、事務局からも説明がございましたが、他の委員の皆様も校名の投票等についてご意見はございますでしょうか？
委員	:	<p>〇〇委員のいうように、15種類というのは多過ぎると思います。折角、総務部会で責任を持ってやってくださっているのです、5種類などとした方が良いでしょう。</p> <p>今時点で、12種類くらい来ているということで、今後20になるか30になるかどうかは、わかりませんが、中にはキラキラネームのようなものもあるだろうし、3、4、5くらいまでには絞れるのかなと思います。</p> <p>総務部会で5種類くらいに抑えて、委員会で最終的にジャッジをしていくというところが、総務部会のあり方としてもいいのかなと思います。</p>
委員	:	自分も3~5くらいをイメージしていた。そして、ここにバンと出してこの中からどうですかと決めていくというイメージだった。この板橋・東の例は、最大で15と書いてあるので、こちらは、3から5くらいで決めてはどうでしょうか？あまりしっかり5と決めてしまうと、6番目がどうしても捨てがたいとなったときに困るので、5前後といった感じでどうでしょうか？

委員長	:	ありがとうございます。〇〇委員からご意見がございました。総務部会の皆さんは大変な責任を持って取り組んでくださっています。〇〇委員・〇〇委員のおっしゃった絞り込みの仕方、決め方でいかがでしょうか？
全員	:	異議なし
委員	:	あと無記名投票について、審議いただいてよろしいでしょうか？
委員長	:	はい、今、〇〇委員からありました。記名投票ですけども、どうでしょうかという意見。これで進めてよろしいでしょうか？
委員	:	<p>昨日、板橋・東の会議に参加させていただいて、昨日は何もない状態から審議に入り、ここに来るまでに相当練った結果です。そこはご理解いただきたい。今、〇〇委員や〇〇委員がおっしゃったように、総務部会が責任を持って取り組んでいるという意見を聞いて、まさにそうだなと思いました。</p> <p>記名投票の話ですが、何ら異論はありません。先程、〇〇委員から、投票には考えを添えてということがあったかと思うのですが、なぜこれを選んだかという理由を言うという事でしょうか？</p>
委員	:	考えを言うことまではいらないと思いますが、意図を持って投票するだろうということですか。
委員	:	<p>わかりました。アンケート用紙には、子供たちなどから、その校名にした理由が書かれていると思うのです。なぜこの名前にしたかという。私はそこを重視した方が良いと思っています。</p> <p>例えば、私がAという校名を選んだとして、なぜ、私がそれを選んだかというよりも、Aという校名を考えた方の想いを重視した方が良く、あえて我々の考えをそこに出す必要はないのではないかと思った。</p>
委員	:	委員は考えを持って、投票するのでしょうかということですか。
委員	:	なるほど、では、校名と名前だけで投票するというのでしょうか？
委員	:	そのとおりです。
委員	:	意見というよりも質問なのですが、今アンケートをしていて、校名を書く欄の下に、たしかに理由などを書くところがあると思うのですが、これは総務部会で絞るときに、事務局の方で集約をされて、こんなカテゴリで、こんな考えで出てきましたよ、っていう資料は出るのですか？
事務局	:	<p>総務部会には、アンケートで出されたもの全てに対して、すべての理由を示して提示させていただきたいと思っております。</p> <p>そういったものが絞る根拠にもなってくると思っています。数だけではなく、思い入れというものが大切になってくると。</p> <p>ですので、それを皆さんにお示しさせていただいて絞り込みもお願いしたいと思っております。</p>
委員	:	<p>確認です。折角、板橋・東の例があるので、我々の委員会として5前後に総務部会で絞るといった流れでいったときに、投票は2回やるのですか？ボルダ方式と単記方式で。</p> <p>総務部会では、ボルダ方式で5に絞って、我々は決選投票で1回でやるとか決</p>

		<p>めておかないと、当日戸惑ってしまうと思う。</p> <p>〇〇委員が言っていた皆さんの想いを色々見るのは、総務部会に限られてしまう。ここにいるメンバーは、5つに絞られたものだけを見ることになる。5つに絞られた想いは、ここに持って来られると思うのですが、それ以外の想いは見られない。その想いは、総務部会でしっかりと見ていただいてという判断で良いのですか？</p>
委 員 員	:	それで良いと思う。
委 員 長	:	はい、総務部会の方で、内容も確認していただいて、絞り込む。ここで確認なのですが、3, 4, 5くらいという話になっていたかと思うのですが、数を決めてみてはいかがでしょうか。5前後ということでもよろしいですか？
事 務 局	:	幅を持たせていた方が、捨てがたいものもあるでしょうから、よろしいかと思えます。
委 員 長	:	それでは、数を決めずに「5前後」ということで、総務部会で考えていただいて、その後、準備委員会で記名投票をして決定するという形になりますが、それでよろしいでしょうか？
委 員 員		はい、あとは総務部会で6になったとしたら、そこから委員会で3にしてから投票するのか、いきなり決選投票とするのかも決めておいた方が良くと思います。
委 員 長	:	今、〇〇委員からありました、最後の決定のところまでの方法をどのようにするのがよいでしょうか？ご意見ある方はお願いします。
委 員 員		<p>投票方式で、板橋・東の資料をみると、1回目はボルダ方式で2回目は単記方式と、これは15種類あるので、ボルダ、単記という順ですか。先程、メリットデメリットの話がされましたけれど、私の理解ができず、再度質問なのですが、もし総務部会で5種類になった場合でも、2回投票するとしたら、ボルダ、そして単記という方式が良いのですか？単記投票2回ではいけないのですか？</p> <p>数によって、このくらいの数ならボルダが良いとか、単記が良いとか、そういうことはあるのでしょうか？</p>
委 員 長	:	はい、〇〇委員から質問がありました。この点について事務局お願いします。
事 務 局	:	<p>この谷井田・三島の準備委員会では、総務部会で5種類程度に絞られてくるという事であれば、投票いただく委員の総数が13名いますので、それぞれ票も割れてくると思います。この場合、単記投票2回ということでもよろしいかと思えます。</p> <p>なお、板橋・東の方では総務部会から上がってくる数が15程度ありますので、これで単記投票を行うと、1票1票で別れてしまい、2, 3票で決定してしまうということが考えられましたので、まず、ボルダ投票をして、その上位で単記投票という形になったということをごさいます。</p>
委 員 員	:	ということは、例えば、総務部会でボルダ方式でやっていただいて、ある程度絞り込んで、ここは救っておきたいというようなちょっとした工夫はあったとして、5前後にしてもらって、後は準備委員会に持ってきて、一発で単記でいくと

		いうのもありということですか？
事務局	:	はい、そのような方式でも問題ないと考えます。
委員	:	では、私は、総務部会でボルダ方式をやっていただいて5つ程度にして、準備委員会では単記方式で行う方法を提案します。
委員	:	今の方法の確認ですが、準備委員会では単記方式1回ですか？2回ですか？
委員	:	私は1回で良いと思っています。そして同数だったらもう一度という考え。
委員	:	私もその方法で異議はないのですが、総務部会でのボルダ方式で、点数で順番が決まっていく。そこから5なのか6なのかをみんなで話し合うのか、点数で順位を決めてしまうと、5と決めたら、単純に5位までになってしまう。それとも順位付けをして、5位までを選んだが、話し合いで6位も入れておきたいとなったならそれも上げるということなのか？
委員	:	私が提案したイメージは後者です。
委員	:	私はそれであれば、賛成です。最後の委員会でのやり方も、決めるのがこの委員会の役割だと思うので、単記方式で行う。同票であればもう一回やり直すというやり方をイメージします。
委員	:	私も〇〇委員と同じで、ボルダ方式にわからないところがある。例を見させていただくと、4つから選ぶ場合は、3点、2点、1点、0点ですよね。もし、29だったとしたら、28から0までを全部付けるのですか？これで数十個も出てきてしまっは、とても難しい。
事務局	:	その場合には、たとえば上位3点に点数を付けるという話にすれば、3、2、1で済むわけです。ですから、上位5つを選ぶ際にも、上位3点を、皆さんに挙げてもらい、点数順にしたものを並べ替えて、その上で、あれやこれも良いという議論がもたれれば、それも準備委員会に追加に入れるという方法もあります。
委員	:	よくわかりました。ありがとうございます。もう一つは、準備委員会で単記一発でという話があって、同一だったら、やり直して決選投票というのが出されました。私は、その中で委員の過半数を超えたものを選ぶという、そういうものがあったらどうかと思いました。
委員長	:	今、〇〇委員から最終決定において、過半数を超えたものという意見がありましたが、いかがですか？
事務局	:	やり方によっては、例えばですが、投票は2回やると決めて、1回目は3つ選び、そしてその結果、決戦というやり方もあろうかと思えます。
委員	:	オリンピックの方式では、過半数にならないければ、一番下を削る。5つの中で選ぶとして、例えば、13人の委員で、7票取ったらそれが決定になる。 しかし、もし7票取れなかったとき、4票、4票、3票、2票などとなったとき、5つのうちの最下位を削って、4つの中からもう一度投票し直す。それでまた7票取れなかったら、最下位を削って、3つの中からもう一度投票。そうやって過半数を超えるまでやっていく。
委員長	:	ただいま、〇〇委員から新たな方法として、オリンピック方式というものが出されました。いかがでしょうか。



全 員	:	異議なし。
委 員 長	:	はい。皆様から色々と意見をいただきました。 総務部会では、ボルダ方式で5つ程度に絞っていただいて、その後で、準備委員会の方で、単記方式にて、記名で投票する。一位同数の場合には、もう一度、決選投票をする。場合によっては、〇〇委員のおっしゃったオリンピック方式を実施する、という方向で決定してよろしいですか。
事 務 局	:	確認をさせていただきます。最終決定は、過半数を超えたものを皆さんの意見とするということによろしいですか？そこにいくまでは、1回で決まるかもしれないし、数回やるかもしれない。
委 員 長	:	皆様、そういう考えでよろしいでしょうか。
全 員	:	異議なし
委 員	:	やむを得ず、委員会当日に来られないという場合に、不在者投票のようなものはありますでしょうか？
委 員 長	:	期日前投票ですとか、委員の皆様全員が投票に参加するというのが、公平で良いのではないかと思います。いかがですか？
事 務 局	:	全員出席で考えていて、そこまでは想定していなかったのですが、もしそうなった場合には、事務局にご連絡ください。
委 員	:	今回、総務部会で5つに絞ったものは、事前に委員に渡されるものなのですか？もしいただけるなら、もし休むことになってしまったら、私はこれに投票しますと宣言すれば済む話ではないですか？
委 員 長	:	どうしても体調だとか、なにが起きるかわからないものですので、私はこれに投票したいということをお願いすれば、それで、ということですね。
委 員	:	それは1回目の投票だけですよ、もし、それで決まらず、2回目、3回目の決選投票となった場合には、その時点で、委員会内で話し合いがきつと持たれるでしょうから、その話し合いで、当初からの心変わりが予想される。そこまでは汲み取れないと思うので。
委 員	:	委員は、必ず最初の1回は投票に参加するということで良いのではないのでしょうか。
委 員 長	:	全員で会議に参加できるのが、一番ですけれども、何が起きるかはわかりませんので、そうした場合には事前を書いてきてもらうなどして、投票に参加してもらうという形にしたいと思います。 皆様からいただいた意見により、校名の決め方を決定させていただきました。 その他、総務部会からの説明で何かございますか？
委 員	:	総務部会資料の最後に、開校記念式典が秋に行うとありましたが、この時に校歌とか校旗とかはなくても大丈夫なのですか？校歌も校旗も、かなりの時間を要すると思うのですが。
委 員	:	それは年度を超えた秋となります。

委 員	:	なるほど、わかりました。大丈夫です。
委 員 長	:	他に、何かございますか？
委 員	:	入学式の校歌というのはどうするのですか？卒業式はまだよいと思いますが。
事 務 局	:	陽光台小や富士見ヶ丘小の例を取っても、その時にはなかったもので、今回もそのように。そちらも、同じように秋に決まりました。
委 員	:	もう一点お願いします。 バスの説明会をお願いします。総務部会でも話をしたのですが、バスのルートがある程度決まりましたが、距離が短くて乗れないんだということがわかってても、きちんと説明していただかないといけない。なるべく秋のうちに早いところでお願ひしたい。 この夏もバスについて、2家族と話をする機会がありました。話の内容については、何とかならないかというものでした。市が判断をするというところだと思うので、なるべく早くをお願いします。
委 員	:	今の話で言えば、新入生、新一年生にも向けて行った方が良いと思います。ただし、就学時健診の時だと時期的にタイミングが悪い。
事 務 局	:	その辺りの説明会の開催については、こちらで考えたいと思います。
委 員 長	:	では、次回の委員会に報告をお願いします。他に、何かございますか？ 無いようでしたら、総務部会の報告の内容を承認し、引き続き部会において検討していただくということよろしいでしょうか。
全 員	;	異議なし

## イ 学校運営部会

委 員 長	:	続きまして、学校運営部会の報告へ移りたいと思います。 こちらは学校運営部会の〇〇委員より発表をお願いします。
学校運営部会長	:	それでは学校運営部会の発表をさせていただきます。 第2回の準備委員会の時に、ご説明させていただきましたが、担任レベル等の先生方で集まって、統合後、生徒たちが新しい学校生活にスムーズに通えるように、8月は部会の開催ではなく、三島小学校と谷井田小学校の職員での合同研修会という事で、2日にわたって行いました。8月2日と8月6日になります。 その中でまず、現在三島小学校にある備品で、谷井田小学校に持っていて有効活用ができるであろうというものを、谷井田小の先生にも見てもらいながら選定をしました。 あと、低、中、高学年のブロックごとに分かれて、そこに書いてあるように校外学習、日課、行事、交流事業などについて、話し合いを持ちました。その中で、校外学習について4年生は、三島小3年生が今年度、県庁と笠間に行くのですが、来年度も県庁で、2年連続となってしまいます。ただし、もう一つは別の場所である

	<p>という事で、このまま計画を進めていくことで話し合いを持ちました。</p> <p>なお、前提事項として、これらはまだ検討段階でありまして、決定については、各校の校長の決裁をいただく必要があるものですが、現在の検討経過ということで報告させていただいております。</p> <p>6年生の修学旅行につきましては、三島小学校では鎌倉・横浜方面で現在行っているのですが、新しい学校では、現在、谷井田小が行っている日光方面で計画を進めてはどうかと話しているところです。</p> <p>日課につきましては、基本的にはそれほど変更点は無くて済むと思いますが、懸念されることは、スクールバスの発着時刻に合わせた設定にしないといけないということで、これは事務局の方でもお考えいただいておりますので、大丈夫とは思っています。</p> <p>あとは、2年生が6時間授業の日を一日設けなくてはいけないのですが、こちらの方は、現在の谷井田小学校の火曜日の設定で良いのではないかとという事で話し合いをしました。ただし、その場合、習い事などがありますので、三島小学校の保護者には早めに知らせる必要があるという事になりました。</p> <p>行事につきましては、これから検討して、良い点は継承していきながら、新しいことも検討していきたいと考えております。</p> <p>交流事業につきましては、2学期以降に行われるものにつきまして、確認を各ブロックごとに行ってもらいました。その中で、充実して交流が図れるようにということで計画を進めているところです。</p> <p>③の会計ですが、教頭と事務職員の方で、現在の集金額・集金方法等を検討しまして、統合後での変更点等について現在、原案を作成しているところです。出来ましたらこちらは、PTA部会の方にも諮っていきたいと考えております。</p> <p>④の学校生活のきまりについての確認を「学習部会」「生活部会」に分かれて話し合いを持ちました。それぞれの学校で食い違う点が多少あります。それで、2学期以降、それぞれの学校で、多少変更しながら合わせられるところは、合わせながらやっていこうということで、話し合いを持っております。</p> <p>裏面にいきまして、生活のきまりですが、それほど大きなものはなかったのですが、清掃の取り組ませ方が少し異なる点がありましたので、合わせていこうと。また、今度は、学区が広がるので、自転車に乗って良い範囲、三島小学校でいうと、低学年、中学年、高学年でそれぞれ違っています。その辺りについて、これからどうしていくか要検討としております。以上です。</p>
委 員 長	<p>： ありがとうございます。ただいまの発表について、全体的にご意見ご質問はありますでしょうか？</p> <p>無いようですので、学校運営部会の報告を承認してよろしいでしょうか。</p>
全 員	<p>異議なし</p>
委 員 長	<p>： 異議なしと認めます。それでは引き続き、各検討項目の協議をお願いいたします。</p>

## ウ P T A部会

委 員 長	：	最後に、P T A部会の報告等に移りたいと思います。P T A部会の部会長である〇〇委員より発表をお願いします。
P T A部会長	：	<p>はい、私たちP T A部会では、第3回の検討部会を7月11日、そして7月28日には、三島小学校・谷井田小学校合同での交流会という事で、谷井田コミュニティセンターを使って、ランチミーティングという形を取らせていただいて、ざっくばらんな話をしました。</p> <p>先日、9月2日には、第4回の検討部会を開きまして、P T Aの組織について、規約について等を確認し、決定までは至っていないのですが、素案の素案くらいものを作り始めております。</p> <p>これまでの確認ということで、P T Aメンバーで確認したことを説明いたします。本部役員会ですが、基本的には、人数は多くなることは覚悟のうえで、両校の現メンバーは、そのまま残っていただき、運営の手伝いをしていただきたい。卒業生とか家庭の事情がある等の方々を除くと、今、谷井田小学校が10名、三島小学校が6名、計16名程度が前向きな返事をしていただいています。ただし、その次の年になると、やめる方も多く出て来るとお思いますので、随時、新たな役員もやっていただく方がいれば、参加してくださいと声掛けは続けていくということになっています。</p> <p>細かい話ですが、学年委員会の人数を決めました。そして、専門委員会、これは、三島小学校が現在行っているようなやり方がとてもわかりやすいものだったので、それを参考にしております。</p> <p>まだ未確定ですが、耳に入れていただくこととして、広報委員会が、運営委員会だよりを発行しており、発行回数はこれから決めますが、三島小学校は、それを各家庭に配っているという話でした。これを新しくなった時に継続するのかやめるのかという話で、継続するとなると谷井田の全地域に配らなければいけない。この点については、申し訳ないのですが、基本的には各家庭には配らない方向で進めております。</p> <p>校外委員会ですが、立哨当番など、色々とやり方は若干違うのですが、すり合わせていきます。110番の家が、バスルートが変わると、それも変わってきます。三島小学校は毎年110番の家に毎年きちんと挨拶をして連絡を取り合っていたということで、谷井田も学ぶところが多かったの、それは取り入れていきましょうということで、話し合いができています。</p> <p>次ページにいきまして、推薦委員会ですが、今年は現メンバーに残ってもらい、もし新しくやっていただく方がいたら追加するとしていますが、次の年はどうするかというところは、三島小学校も谷井田小学校も懸念になっています。結局、本部のメンバーを犠牲にみたいな形にもなっていたりするので、あくまでも推薦</p>

	<p>者、立候補者を募って、それをリストアップして本部に提出していただくだけの形で、負担を減らして、推薦をしていただくことは残しましょうという形にしています。</p> <p>PTA会費は、現在の谷井田は3600円、三島小学校は5千円ちょっとなのですが、谷井田の金額で運営できるだろうということで、谷井田の3600円に合わせてやっていくという形になっています。</p> <p>次ページからは、PTA会則がありますが、一部省略しまして、このページの割り振りで8ページにいただくと、一般のPTA組織図のような形があります。PTA会員、PTA総会、本部役員会、合同役員運営委員会という中で、成り立っているものは、従来通りです。</p> <p>次のPTA本部組織図の一番上に、「顧問」がありますが、「顧問」と「会計監査」は、本部役員から外れた形にしましょうということで先日、話し合いましたので、次回の組織図は少し変わります。</p> <p>そして、三島小学校の顧問は校長先生、谷井田小学校の顧問は、歴代の会長が多かったということがわかりました。1名は校長先生で、もう1名は必要があれば、どなたか委嘱することができるという文章に変えていきたいと思います。</p> <p>次のページに、PTAの役割表があります。これは、一番保護者が知りたがっている内容だということなので、表にまとめて考えました。</p> <p>12ページの資料では、個人情報取扱規則というのがあります。推薦委員会というのは、例えば〇〇さんが推薦されたときに、〇〇さんの電話番号がないと動けません。教頭先生、電話番号を教えてくださいと、それで教えていただき、電話をかけると、誰が教えたのかとか、何でかけてきたのかとかいうトラブルが起こりうるということがあるようなので、正式に個人情報の取扱いについて規則に載せて、事務局からも資料やアドバイスもいただいて、個人情報のひな型に合わせて、個人情報を守るという規約を考えています。歴代の会長も多いので、見ていただいてアドバイスいただければと思います。以上です。</p>
委員長	： ありがとうございます。ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございますでしょうか？
委員長	： 特に無いようですので、PTA部会の報告を承認して、引き続き各検討内容の協議をお願いしたいと思います。よろしいですか。
全員	： 異議なし
委員長	： これで各検討部会からの報告が全てしました。 続きまして、次第の5「その他」について、事務局より説明をお願いします。

## 5 その他

事務局	： (次回の日程説明)
-----	-------------

## 6 閉会